

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立玉野高等学校		
実践者等		大月 菜於	実践日	令和4年4月21日, 25日, 28日 5月2日, 9日, 12日, 16日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		国語・瀬戸内の文学【学校設定科目】		
対象生徒(学年等)		2 学年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☐ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☐ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☒ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) スライド作成【4時間】 「瀬戸内の文学」で扱う瀬戸内各県の文学について調べ、以下の点についてスライドにまとめさせた。 ・各県の出身作家とその県が舞台となる作品について ・作家や作品から考えられる傾向について ・調べてみた中から読んでみたい本について 単なる調べ学習にならないよう、出身作家や舞台の作品をただ列挙するのではなく、時代やジャンル、題材等の視点を取り入れてまとめ、そこから生徒自身で傾向を探るように説明した。 (2) 発表【2時間】 スライドをもとに5分程度で発表させた。発表の際に、発表者の振る舞いや発表内容に関する評価シートを記入させた。また質問シートも配布し、発表を聞いて疑問に思ったことを記入させて、発表後各個人に返却した。 (3) ふりかえり【1時間】 発表を終えて聞き手から集まった質問についての回答をスプレッドシートにまとめさせた。根拠を示して回答を示すように伝えた。				
【本時と家庭学習との連動】 (本時前) (本時後)				

